

宮城県農業土木工事施工管理基準 新旧対照表 (令和6年10月)

< 改定後 (令和6年10月) >

< 現行 (令和5年10月) >

< 改定理由 >

宮城県農業土木工事施工管理基準

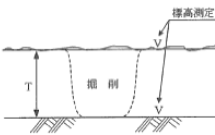
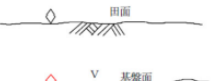
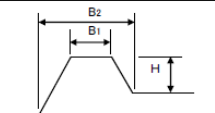
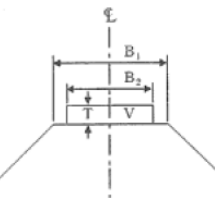
第1項 [略]

第2項 直接測定による出来形管理

1 共通工事 ~ 2 法面保護工事 [略]

3 ほ場整備工事

【国】
・農林水産省の改正に準じて改定。

工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参考) 規格値 (mm)	測定基準	管理方式			測定箇所標準図	摘 要
					管理図表によるもの (様式2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
3 ほ場整備工事	表土扱い	厚さ (T)	Ⓢ 20% Ⓣ 15%	Ⓣ 20%	10a当たり3点以上。(標高差測定又はつぼ掘りによる)	—	—		
	管理基準値		Ⓢ 20%	10a当たり3点以上。(標高差測定)					
	基盤整地 田面整地	基準高 (V)	指定したとき Ⓢ 100	Ⓢ 150	10a当たり3点以上。(標高測定する)	—	—		1 基準高は、基準面の高さとする。 2 均平度は、基盤整地後と表土掘戻し後に測定する。
		均平度 (◇)	Ⓢ 35	Ⓢ 50					
畦畔工	高さ (H)	Ⓢ 100 Ⓣ 35	Ⓣ 50	施工延長おおむね200mにつき1箇所の割合で測定する。 施工延長を示さない場合は、1耕区につき1箇所の割合で測定する。	—	—			
	幅 (B)	Ⓢ 100 Ⓣ 35	Ⓣ 50						
道路工 (砂利道)	基準高 (V)	指定したとき Ⓢ 100	Ⓢ 150	幹線道路は、施工延長50mにつき1箇所の割合で測定する。 支線道路は、施工延長おおむね200mにつき1箇所の割合で測定する。	—	—		舗装を行うときは、「7農道工事」を適用する。	
	厚さ (T)	Ⓢ 30	Ⓣ 45						
	幅 (B)	Ⓢ 150 Ⓣ 100	Ⓣ 150						
	施工延長		Ⓣ 0.2% ただし延長 200m未満 Ⓣ 400						

宮城県農業土木工事施工管理基準 新旧対照表 (令和6年10月)

<p>4 暗渠排水工事 ～ 14 ため池工事 [略]</p> <p>第3項 ～ 第5項 [略]</p>		
-----------------------------------------------------	--	--